



2021年 8月 26日発行 会報 第1067号

今週のプログラム

(2021年 8月 26日 第1067回例会)

《ZOOM例会》

卓話：「会員増強について」

担当：地区拡大増強委員長

加茂 次也様

次週のプログラム

(2021年 9月 2日 第1068回例会)

《ZOOM例会》

卓話：一パストガバナーからの提言—

「クラブ活性化に向けて」

担当：山本 博史パストガバナー

第1066回例会 (2021年 8月19日) の記録

<会長の時間>

水島 洋 会長

米山奨学生アクサさん、ようこそ。

本日は、国際ロータリー第2660地区2016-2017年度ガバナー松本 進也様にお越し頂きました。松本様は私がガバナー補佐を務めました時のガバナーでして、エレクトの時期を含めて2年間にわたりご指導をいただき、たいへんお世話になりました。

松本様は非常に実直で真面目なお人柄で、今回も卓話をお願いしましたら、原稿10枚とパワーポイントのレジメ19枚をご準備いただきました。

本日の卓話のテーマは「RI未来形成委員会の動き（ガバナー制度がなくなるの？）について」です。

会員の皆様には松本様からいただいた原稿をあらかじめメール配信しておりますが、かなり重要な問題と思われるので、今一度じっくりとお話をお聞かせいただきたいと思います。

松本様にはわざわざお時間をお取りいただきましたのに、ZOOM例会のため何のおもてなしもできずに誠に申し訳ありませんが、本日はどうぞよろしくお願い致します。



＜本日のビジター＞ RI 第 2660 地区 2016-2017 年度ガバナー 松本 進也様（大阪北 RC）
2021 学年度 米山奨学生 アクサ メイリアナ インタニさん

＜出席報告＞

会員数（内出席免除会員 1 名） 17 名
本日の出席者数 11 名
（内出席免除会員 0 名）
（名誉会員 0 名）
本日の出席率 《ZOOM》 68.75%

＜ロータリーソング＞

全会員

♪それでこそロータリー♪

どこで会っても やあと言おうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそローローローターリー

＜幹事報告＞

山本 友亮 幹事

1. ロータリー日本 100 年史／100 人のロータリアン・ロータリーの本棚／年表・資料が届きました。DVD も同送されております。事務局に保管致しておきます。

＜卓話＞

「RI 未来形成委員会の動き（ガバナー制度がなくなるの？）」

松本 進也パストガバナー

一言でいうと、RI が中央集権化を狙い、地区を無くし、現在のガバナー・ガバナー補佐制度を廃止して、世界を 28 の地域に分類する計画です。プロジェクト名は “Shaping Rotary’s Future” 「ロータリーの未来形成」であります。我々の間では略して「SRF」と呼びます。

日本のロータリーは先般 100 周年を迎えたばかりですが、このような劇的な変化の動きがあるとは予想だにせず、驚きの内容でした。

2018 年 RI は「ロータリー未来形成委員会」を発足し、この委員会でのみ秘密裏に検討され以後、一切外部には公開されませんでした。

ガバナー制度の利点を残した軌道修正ではなく、全くの新制度を立案する事は先人ロータリアンが築き上げたロータリーの歴史の価値を軽んじているのではないかと疑問符を付けざるを得ません。今回のガバナー・ガバナー補佐制度の廃止は余りにも唐突且つ、ドラスティックであり、困惑の色を隠せないのが同期ガバナーはじめ、私たちの共通認識です。

この「SRF」についてはいろいろな論調があり、私は今回の卓話にて、できるだけ偏りの無きような様々な視点からの観点をお伝え致しました。皆様もどうぞ我々の未来に直結する事項につき、関心を持たれ、語り合って頂ければと存じます。

水島会長、この度はお招きいただき、御礼申し上げます。

*2021 年 8 月 18 日配信の添付ファイルにて全文の参照をお願い致します。



千里メイプルロータリー
クラブ 8月度 例会卓話



RI未来形成委員会の動き (ガバナー制度がなくなる?)



2016-17年度ガバナー
松本 進也

“Shaping Rotary’s Future”「ロータリーの未来形成」

Shaping : 形成
Rotary’s : ロータリー
Future : 未来

RIが地区を無くし、ガバナー・
ガバナー補佐制度を廃止し、
世界を28の地域に分類する計画

Shaping Rotary’s Future”「ロータリーの未来形成」

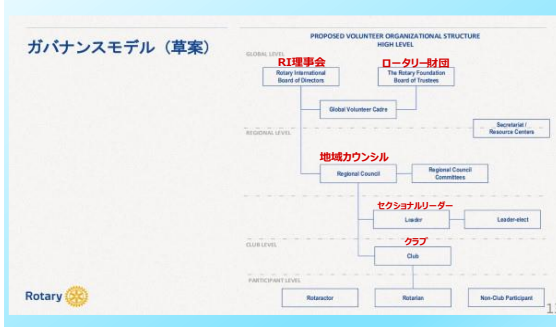


Shaping Rotary’s Future”「ロータリーの未来形成」

【経緯】

- ・RIが秘密裏に2018年7月より計画立案
- ・プロジェクト名は“Shaping Rotary’s Future”
「ロータリーの未来形成」
- ・RI理事会で解禁: 昨年11月19日
- ・日本: 昨年のロータリー研究会で概略の説明
 - ・12/5「ロータリーの未来形成と意見交換の会」第1回目
 - ・12/17に第2回目
- ・反発が予想される。「パイロット地区」にて試験期間後の実施予定
最短でも2030年～実施

Shaping Rotary’s Future”「ロータリーの未来形成」



Shaping Rotary’s Future”「ロータリーの未来形成」

- ・世界を言語・文化等で28の地域 (リージョン) に分ける (3年任期の地域カウンスルを置く。ガバナンスの権限無)
- ・リージョンの下に1,874のセクションを置く (2年任期のセクショナル リーダーを置く)

RAは 地域カウンスルや、セクショナルリーダーの投票権、及び候補する権利がある!

ラシン元RI会長は、2019年規定審議会より1年前の2018年設立の「ロータリーの未来形成委員会」の委員長
これが当時のRAC強行採決のからくり

Shaping Rotary’s Future”「ロータリーの未来形成」

【日本はどうなる?】

現在34地区 → **1地域 (リージョン)**
(その下に) **102セクション**

<従来> 34地区で34人のガバナーがRI会長方針に基づきガバナー方針や地区スローガンとして策定

<新制度> 34地区→1地域へ統合 (1名の地域カウンスル)
→地域カウンスルにはガバナンス権無し
→RIの意のままとなり、独断独行できず

従来のガバナー方針は消滅、RI会長方針が下りてくるのみ

新制度への取組の背景、起案した理由



【取組の背景】

- * 多様性、平等さ、開放性 (DEI: Diversity, Equity, Inclusion)
- * 地域化への切望
- * リーダーシップの役職における責務、行動計画

【起案した理由】

「ガバナー制度が機能不全を起こしている故」

- ・ガバナーは多忙すぎて、ロータリー発展のために能力を発揮できない
- ・ロータリーの役職は指名によって決まるので偏りがある。
- ・過去 20 年間、50 歳以下の地区ガバナーの割合の平均は 5%であり、この割合は過去 20 年間で大きく変化していない。
- ・昨年、50 歳以下の地区ガバナーの割合は 6%であり、94%は 50 歳以上だった。

新制度：「リージョン(地域)」・「セクション」



【リージョン(地域)】

- ・「リージョン」：世界を28に分けた地域
- ・区分け：「文化」「言語」「ニーズとフォーカス」「地理」「効率性」

<地域カウンシル>28名

- ・地域内のクラブの選挙で選出。任期3年。**ガバナンス権限は無い。**
- ・RI理事会に対し責任があり、個々の理事に対してはない
- ・地域内のRC、RAのよき会員は立候補できる

【セクション】

- ・「セクション」世界を28のリージョンに区分けた後、その下に1,874のセクションが置かれる

<セクショナルリーダー>1,874名

- ・セクション内のクラブの選挙で選ばれる。任期年
- ・25〜30のRC、RACを支援する
- ・セクションの支援は、リーダーとリーダーエレクトにゆだねられる

補助金制度の変更



未来の夢計画…TRF(ロータリー財団)の改革

SRF (ロータリーの未来形成) … **RI + TRFの改革**

●地区補助金→「セクション補助金」へ変更

クラブからの希望を地区で承認 →→→ クラブからの希望をセクションレベルで承認
(日本)34地区ごとに 「102セクション」で承認

●グローバル補助金

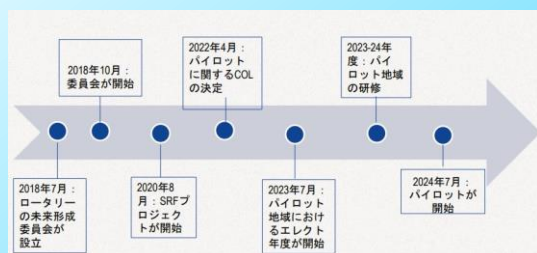
地区レベルで承認→→→→→ まずは「**地域**」で承認
(日本)34の地区ごとに 「1地域」で承認

補助金枠の問題が発生するのでは？
将来的な**RIと財団の一体化の目論見**

今後のスケジュール



何年か先には必ず実施されるとは決まっていない
パイロットを経て、早く**2030年スタート**



2021年2月 SRF委員会決定事項



- ①ガバナーという名称は残す
- ②ローターアクターはロータリアンと同じ立場とはしない
- ③パイロット地域は8つではなく1つか2つにする
- ④地域カウンシルの権限を明確にする

これらを今後、1年間位かけて再検討する

パイロット地区(6地区) * 日本は含まれず



地域名	2021年1月1日現在の人口	国	リージョン	ローターアクトクラブ数	ローターアクトクラブ数	備考
1. ドイツ連邦共和国	82,000,000	ドイツ	ヨーロッパ	1,700	1,700	ドイツ連邦共和国
2. フランス共和国	67,000,000	フランス	ヨーロッパ	1,700	1,700	フランス共和国
3. オーストラリア連邦	25,000,000	オーストラリア	アジア	1,700	1,700	オーストラリア連邦
4. インド共和国	138,000,000	インド	アジア	1,700	1,700	インド共和国
5. 中国大陸	1,400,000,000	中国	アジア	1,700	1,700	中国大陸
6. 日本	125,000,000	日本	アジア	1,700	1,700	日本

現時点では上記の6地域
→3地域(オーストラリア、米国北東部、RIBI)に変更された

今後の展望



* 世界から9か国が参加する「**フォーカスグループ**」を編成し、検討・検証

* RI理事会からの2022年規定審議会提案案：

当初：「試験的地区を認める件」
変更：「試験的プロジェクトにおけるクラブの管理を規定する件」

* 地域カウンシル・セクショナルリーダーの**被選挙権・選挙権**がローターアクターに与えられる

* ロータリー組織の若返りは永年の懸案事項

* 今後のRIが目指すのは
会員増強＝財政面の安定

- ・2019年規定審議会でローターアクトのRI加盟を達成
- ・2022年規定審議会でRI理事会より2ドルの人頭負担金増額が提案
- ・未来形成計画＝**中央集権化**が最大の目的
～今のガバナーに任せたくない、RIの目論見通り動かす～

日本のロータリー100周年記念式典



辰野克彦RI理事

これからのロータリーの2つの道：

- 「**不易の道**」：「いくら世の中が変わっても変わらないもの
変えてはいけないもの」
＝「人との交わりー親睦、利他の精神ー奉仕」

- 「**流行の道**」：「世の中の変化と共に変わっていくもの」
＝「国際ロータリーとロータリー財団が一体となり、
非営利組織・国際奉仕団体として高みを目指す」

日本のロータリーの10年後は会員数のピークであった**13万人**に戻す

ご清聴ありがとうございました



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために